

主な参考文献

- 1 安藤保二・波部忠重, 1981. 陸産貝類図説(2)クビキレガイ属 *Truncatella* とクビキレガイモドキ属 *Cecina*. ちりぼたん, 12: 79-82.
- 2 Asami, T., Yamashita, H., Park, J. & Ishikawa, H., 1997. Geographical distribution of the land snail *Bradybaena pellucida* (Pulmonata: Bradybaenidae). *The Yuriyagai*, 5: 31-42.
- 3 東 正雄, 1995. 原色日本陸産貝類図鑑 増補改訂版. Xvi+345pp., 80 pls. 保育社, 大阪.
- 4 Boss, K. J., 1969. The subfamily Tellininae in South African waters (Bivalvia, Mollusca). *Bulletin of the Museum of Comparative Zoology*, 138: 81-162.
- 5 Cox, L. R. & Rees, W. J., 1960. A bivalve gastropod. *Nature*, 185: 749-750.
- 6 福田 宏, 1996. 腹足綱. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状(花輪伸一・佐久間浩子編). *WWF Japan Science Report*, 3: 11-63.
- 7 福田 宏, 2000. 巻貝類 I - 総論. 有明海の生きものたち—干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編): 100-137. 海游舎, 東京.
- 8 福田 宏, 2003a. 西日本における貝類の移入. *日本ベントス学会誌*, 58: 99-100.
- 9 福田 宏, 2003b. 岡山大学農学部水系保全学研究室所蔵貝類標本(1). *岡山大学農学部学術報告*, 92: 75-102.
- 10 福田 宏, 2004. 外来種と同定の問題. *日本ベントス学会誌*, 59: 68-73.
- 11 福田 宏, 2007. 軟体動物門 腹足綱. 第7回自然環境基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書(飯島明子編). 153-161. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 12 福田 宏, 2008. 川口四郎先生を偲ぶ. *山口貝類研究談話会ニュースレター*, (6-12): 37-39.
- 13 Fukuda, H. & Ekawa, K., 1997. Description and anatomy of a new species of the Elachisinidae (Caenogastropoda: Rissooidea) from Japan. *The Yuriyagai*, 5: 69-88.
- 14 福田 宏・溝口幸一郎・鈴木田亘平・馬堀望美, 2002. 佐賀県太良町田古里川河口の貝類相 - 2. 追加種. *佐賀自然史研究*, 8: 47-55.
- 15 福田 宏・鈴木田亘平, 2001. 人工湿原に定着しえた絶滅危惧貝類. *岡山県自然保護センター研究報告*, (9): 63-70.
- 16 福田 宏・上島 励, 2009. 日本産 Smeagolidae スメアゴル科(新称・北半球新記録科, 腹足綱: 有肺目)[日本貝類学会平成 21 年度大会(大阪)研究発表要旨]. *Venus*, 68: 76-77.
- 17 Gorlov, I. P. & Tsurusaki, N., 2000. Staggered clines in a hybrid zone between two chromosome races of the harvestman *Gagrellopsis nodulifera* (Arachnida: Opiliones). *Evolution*, 54: 176-190.
- 18 波部忠重, 1958. 日本産二枚貝類 4 新種. *Venus*, 19: 177-183.
- 19 波部忠重, 1961. 続原色日本貝類図鑑. 4+xii+182pp., 46app., 66 pls. 保育社, 大阪.
- 20 波部忠重, 1973. 軟体動物. 川村日本淡水生物学(上野益三編). 309-341. 北隆館, 東京.
- 21 波部忠重, 1977. 日本産軟体動物分類学 二枚貝綱/掘足綱. 372pp. 図鑑の北隆館, 東京.
- 22 波部忠重, 1985. 貝類研究採集者列伝(60)畠田和一 Waichi Hatakeda (1897-1965). *ちりぼたん*, 16: 64-65.
- 23 波部忠重, 1994. ハイガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (I) 軟体動物: 46-48. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 24 浜野龍夫・鎌田正幸・田辺 力, 2000. 徳島県における淡水産十脚甲殻類の分布と保全. *徳島県立博物館研究報告* 10: 1-48.
- 25 Hartnoll, R. G., 1960. *Entionella monensis* sp. nov., an entoniscid parasite of the spider crab *Eurynome aspera* (Pennant). *Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom*, 39: 101-107.
- 26 Hasegawa, K., 2000. Rissoidae in the Seto Inland Sea, Japan (Mollusca: Gastropoda). *Memoirs of the National Science Museum*, 33: 105-116.
- 27 畠田和一, 1935. 岡山県貝類方言. *Venus*, 5: 229-236.
- 28 畠田和一, 1956. 岡山県産陸棲貝類目録. 1+7pp. 著者自刊.
- 29 畑守有紀・新海明・上田俊穂, 1997. クモタケの全国分布調査結果. *Kishidaia*, 72: 34-47.
- 30 逸見泰久・東 幹夫・山口隆夫, 2000. 有明海のナメクジウオ. 有明海の生きものたち—干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編). 206-209. 海游舎, 東京.

- 31 平瀬與一郎, 1910. 日本千貝目録. 2+2+48+9+2+8pp., 1 plate. 平瀬介館, 京都.
- 32 五十嵐重雄・高川金次・波部忠重, 1990. 北海道函館産海岸棲貝類4種. ちりぼたん, 21: 54-55.
- 33 Ihara Y., 1993. Five new small-sized species of the genus *Cybaeus* (Araneae: Cybaeidae) from the Chugoku district, Honshu, Japan. *Acta arachnol.*, 42: 115-127.
- 34 Ihara Y., 1994. Two new species of the genus *Cybaeus* (Araneae: Cybaeidae) from the Chugoku district, Honshu Japan. *Acta arachnol.*, 43: 87-93.
- 35 Ihara Y., 1995. Taxonomic revision of the longiscapus-group of *Arcuphantes* (Araneae: Linyphiidae) in Western Japan, with a note on the concurrent diversification of copulatory organs between males and females. *Acta arachnol.*, 44: 129-152.
- 36 Ihara Y., 2006. *Cybaeus jinsekiensis* n. sp., a spider species with protogynous maturation and mating pluge (Araneae: Cybaeidae). *Acta arachnol.*, 55: 5-13.
- 37 Ihara Y., & K. Nojima, 2004. Geographic distribution of the *Cybaeus kuramotoi*-group (Araneae: Cybaeidae) in Okayama, Tottori and Hyogo prefectura, western Honshu, with description of five new species. *Acta arachnol.*, 53: 131-146.
- 38 飯島明子編, 2007. 第7回自然環境基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書. IV+ 235+ 99 pp., CD-ROM. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 39 稲葉明彦, 1982. 瀬戸内海の貝類. 181pp. 広島貝類談話会, 広島.
- 40 稲臣成一, 1953. 岡山縣下吸虫類中間宿主の研究(5)児島湾沿岸に於ける「マメタニシ」の分布について. 岡山医学会雑誌, 65: 45-49.
- 41 板垣 博, 1965. マメタニシの解剖. 貝類学雑誌 *Venus*, 24: 169-180, pls 17-19.
- 42 伊谷 行, 2007. 瀬戸内海中央部. 第7回自然環境基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書(飯島明子編). 90-91. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 43 岩崎敬二, 2007. 外来淡水産無脊椎動物に関する特定外来生物の選定過程と研究上の問題点について. 陸水学雑誌, 68(3): 497-500.
- 44 岩崎敬二・木村妙子・木下今日子・山口寿之・西川輝昭・西榮二郎・山西良平・林 育夫・大越健嗣・小菅丈治・鈴木孝男・逸見泰久・風呂田利夫・向井 宏, 2004. 日本における海産生物の人為的移入と拡散: 日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から. 日本ベントス学会誌, 59: 22-44.
- 45 金田彰二・倉西良一・石綿進一・東城幸治・清水高男・平良裕之・佐竹 潔, 2007. 日本における外来種フロリダマミズヨコエビ(*Crangonyx floridanus* Bousfield)の分布の現状. 陸水学雑誌, 68(3): 449-460.
- 46 環境庁自然保護局編, 1993. 第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 別冊・分布図(陸産及び淡水産貝類). 945pp. 環境庁自然保護局, 東京.
- 47 片山 久, 2001. 岡山県に生息する陸水貝類とその分布. 倉敷市立自然史博物館研究報告, 16: 1-53.
- 48 加藤 真・福田 宏, 1996. 二枚貝綱. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状(花輪伸一・佐久間浩子編). *WWF Japan Science Report*, 3: 65-73.
- 49 川口貞雄, 1985. イナバマメタニシの新産地. ちりぼたん, 16: 65.
- 50 Kawaguti, S., 1959. Formation of the bivalve shell in a gastropod, *Tamanovalva limax*. *Proceedings of the Japan Academy*, 35: 607-611.
- 51 Kawaguti, S. & Baba, K., 1959. A preliminary note on a two-valved sacoglossan gastropod, *Tamanovalva limax*, n. gen., n. sp., from Tamano, Japan. *Biological Journal of Okayama University*, 5: 177-184.
- 52 川口四郎・弥益輝文, 1959. 二枚の殻を持つた囊舌目のウミウシ: タマノミドリガイ. *動物学雑誌 (Zoological Magazine, Tokyo)*, 68: 442-446.
- 53 川勝正治, 1992. 扁平な虫たち プラナリア. *週刊朝日百科 動物たちの地球* 63. 84-86. 朝日新聞社.
- 54 川勝正治, 2006. カプトガニウズムシ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—7 クモ形類・甲殻類等(環境省自然環境局野生生物課編). 25. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 55 川勝正治・西野麻知子・大高明史, 2007. プラナリア類の外来種. 陸水学雑誌, 68(3): 461-469.
- 56 河本卓介, 1934. 貝類雑俎(5). *Venus*, 4: 307-311.
- 57 紀平 肇・松田征也, 1997. オバエボシガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (IV) 軟体動物: 18-21. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 58 吉良哲明, 1959. 原色日本貝類図鑑. 7+vii+2+240 pp., 1+71 pls. 保育社, 大阪.

- 59 小林照幸, 1998. 死の貝. 240 pp. 文藝春秋, 東京.
- 60 Kondo, T., 1987. Breeding seasons of seven species of unionid mussels (Bivalvia: Unionidae) in a small creek. *Venus*, 46: 227-236.
- 61 近藤高貴, 1995a. カワシンジュガイは氷期遺存種? ちりぼたん, 25: 59-63.
- 62 近藤高貴, 1995b. マツカサガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 3-6, pl. 1. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 63 近藤高貴, 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号. V+69pp. 日本貝類学会, 東京.
- 64 Kondo, T. & Kobayashi, O., 2005. Revision of the genus *Margaritifera* (Bivalvia: Margaritiferidae) of Japan, with descriptions of a new species. *Venus*, 64: 135-140.
- 65 Kondo, T. & Yamashita, J., 1980. Morphology of the glochidium of *Pseudodon omiensis* Heimbürg. *Venus*, 39: 187-189.
- 66 窪田彦左衛門, 1962. 福井市立郷土博物館所蔵貝類標本目録. V+242pp. 福井市立郷土博物館, 福井.
- 67 黒田徳米, 1943. 中国地方の新陸産貝類(1)ムシオイガヒの新亜属新種. *Venus*, 13: 7-11.
- 68 Kuroda, T., 1962. Notes on the Stenothyridae (aquatic Gastropoda) from Japan and adjacent regions. *Venus*, 22: 59-64, pl. 4.
- 69 黒田徳米・東 正雄, 1982. 岡山県産陸貝(キセルガイ科)一新亜種. *Venus*, 41: 175-176.
- 70 黒田徳米・波部忠重, 1951. 中国地方産オホベソマイマイ属の2新種並に2新亜種. *Venus*, 16: 78-82.
- 71 黒住耐二, 1996. ミズゴマツボ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III) 軟体動物: 22-28, 83-84. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 72 Markham, J. C., 1990. Further notes on the Isopoda Bopyridae of Hong Kong. Morton, B. (ed.), Proceedings of the Second International Marine Biological Workshop: The Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China, Vol. 2, 555-566. Hong Kong University Press, Hong Kong.
- 73 増田 修, 1993. 山陽地方のスリツヤマメタニシとしてきた貝. かいなかま, 27: 1-6.
- 74 増田 修, 1994. カワシンジュガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (I) 軟体動物: 3-12, pl. 1. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 75 増田 修, 1996. ヒロクチカノコガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III) 軟体動物: 8-12, 80-81, pl. 2. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 76 増田 修, 1997. イナバメタニシ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (IV) 軟体動物: 8-11. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 77 増田 修, 2005a. カワネジガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 79. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 78 増田 修, 2005b. サチマイマイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 276. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 79 増田 修・波部忠重, 1988. 岡山県倉敷市にすみついたカネツケシジミ. ちりぼたん, 19: 39-40.
- 80 増田 修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. ピーシーズ生態写真図鑑シリーズ2. 240 pp. ピーシーズ, 東京.
- 81 松田征也, 1995. カワネジガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 31-35, 118, pl. 6. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 82 松隈明彦, 1986. ニオガイ科. 決定版生物大図鑑 貝類(奥谷喬司編). 338-339. 世界文化社, 東京.
- 83 湊 宏, 1986. キセルガイモドキ科. 決定版生物大図鑑 貝類(奥谷喬司編). 240-241. 世界文化社, 東京.
- 84 湊 宏, 1994. 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究. 貝類学雑誌 *Venus* 別巻2: 1-212, tables 1-6, pls 1-74.
- 85 湊 宏, 1999. 日本のキセルガイモドキ科貝類の概説. ちりぼたん, 30: 49-58.
- 86 湊 宏, 2003. クビキレガイモドキの分布とその生息地. ちりぼたん, 34: 92-96.
- 87 湊 宏, 2005a. イトウムシオイガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 58. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 88 湊 宏, 2005b. カスガコギセル. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 106. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 89 湊 宏, 2005c. タイシャクギセル. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・

- 淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 113. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 90 湊 宏, 2005d. ヤセキセルモドキ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 195. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 91 湊 宏, 2005e. ハタケダマイマイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 349. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 92 湊 宏, 2005f. カワムラケマイマイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—6 陸・淡水産貝類(環境省自然環境局野生生物課編). 372. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 93 湊 宏・鈴木章司・矢野重文, 1994. 西中国山地のイトウムシオイガイ. ちりぼたん, 24: 93-95.
- 94 湊 宏・多田 昭, 2000. 四国のシメクチマイマイ種群の生殖器の形態とその分布. ちりぼたん, 31: 3-10.
- 95 三宅貞祥, 1982. 原色日本大型甲殻類図鑑(I). 261pp. 保育社, 大阪.
- 96 溝口幸一郎・逸見泰久・山口隆男, 2002. 短尾類に寄生するヤドリムシ類(等脚目: ヤドリムシ亜目)の寄生状況と宿主に与える影響. 日本ベントス学会誌, 57: 79-84.
- 97 森 千恵・鈴木田亘平・田牧 愛・福田 宏, 2003. 岡山県瀬戸内海沿岸における注目すべき海産貝類(予報). Venus, 62: 88-89.
- 98 森 生枝, 1994. 岡山県下にカワネジガイ *Camptoceras hirasei* Walker を確認. 岡山県自然保護センター研究報告, (2): 25-26.
- 99 村上 亘・福田 宏, 2009. 岡山県産ハタケダマイマイ近縁種群(有肺目: オナジマイマイ科)の再検討(予報)[日本貝類学会平成 21 年度大会(大阪)研究発表要旨]. Venus, 68: 94.
- 100 長花 操・初鹿 了・清水泉太・川上 茂, 1978. 岡山県における肝吸虫症の疫学的研究(1)マメタニシの分布状況. 寄生虫学雑誌, 27: 165-170.
- 101 長野寛治, 1927. 岡山縣下ニ於ケル肝臟「ダストマ」第一中間宿主「マメタニシ」ノ分布ニ就テ. 岡山醫學會雑誌, 444: 124-132.
- 102 日本生態学会編, 2002. 外来種ハンドブック. 390pp. 地人書館, 東京.
- 103 西川輝昭, 2000. ナメクジウオ. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック(水産庁編集). 62-63. 財団法人 日本水産資源保護協会, 東京.
- 104 西川輝昭, 2007. 脊索動物門 頭索動物亜門. 第 7 回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)業務報告書(飯島明子編). 221-222. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 105 西野麻知子, 1993. 節足動物門. びわ湖の底生動物Ⅲ(西野麻知子編). 48-56. 滋賀県琵琶湖研究所, 大津.
- 106 西野麻知子, 2002. 甲殻類およびその他の淡水産無脊椎動物. 京都府レッドデータブック上巻. 458-463.
- 107 西野麻知子・丹羽信彰・池田 実・遠山裕子・大高明史, 2009. 外来カワリヌマエビ属の侵入・分布拡大プロセスと在来種との関係. 日本生態学会第 56 回全国大会講演要旨.
- 108 大垣内 宏, 1968a. 岡山県採集地案内(その 1). ちりぼたん, 5: 45-46.
- 109 大垣内 宏, 1968b. 岡山県採集地案内(その 2). ちりぼたん, 5: 71-72.
- 110 岡田 要・内田清之助・内田 亨, 1965. 新日本動物図鑑 [上]. 679pp. 北隆館, 東京.
- 111 岡本正豊, 1995a. クロヘナタリガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 79-82, 124-125, pl. 15. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 112 岡本正豊, 1995b. シマヘナタリガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 83-87, 126-127, pl. 16. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 113 岡村一郎, 1997. イトウムシオイガイ. しまねレッドデータブック—島根県の保護上重要な野生動植物—(動物編), 354. 島根県環境生活部景観自然課, 松江.
- 114 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. 無脊椎動物実習手引 第 3 版. 82pp. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 牛窓.
- 115 岡山県, 1978. 第 2 回自然環境保全基礎調査海域生物調査報告書. 1+ 106 pp. 岡山県, 岡山.
- 116 岡山県野生生物調査検討会編, 2003a. 岡山県野生生物目録. 2+397 pp. 財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山.
- 117 岡山県野生生物調査検討会編, 2003b. 岡山県版レッドデータブック—絶滅のおそれのある野生生物—. 1+12+1+465 pp. 財団法人岡山県環境保全事業団, 岡山.
- 118 奥谷喬司, 2000. ニオガイ科. 日本近海産貝類図鑑(奥谷喬司編). 1026-1029. 東海大学出版会, 東京.
- 119 奥谷喬司・波部忠重, 1975. 学研中高生図鑑 貝 II. 294 pp. 学習研究社, 東京.
- 120 Pilsbry, H. A., 1900. Additions to the Japanese land snail fauna. Proceedings of the Academy of Natural

- Sciences of Philadelphia, 51: 525-530, pl. 21.
- 121 佐藤國康, 1993a. 淡水ヒドラと淡水クラゲ. おかやまの自然 第2版. 278-279. 岡山県環境保健部自然保護課.
- 122 佐藤國康, 1993b. 天然記念物の動物. おかやまの自然 第2版, 280-282. 岡山県環境保健部自然保護課.
- 123 佐藤國康, 1995. 岡山県児島湾にヘナタリガイを求めて. Letter from Nature, 1: 35-39.
- 124 佐藤國康, 1997. 若杉原生林の動物. 自然保護基礎調査報告書—若杉原生林生物学術調査—. 21-34. 岡山県地域振興部環境保全局自然保護課.
- 125 佐藤國康, 1999. 羅生門の動物(昆虫以外). 羅生門自然環境保護・保全調査報告書. 107-115. 岡山県新見市教育委員会.
- 126 佐藤國康・益田芳樹, 1993. その他の無脊椎動物. おかやまの自然 第2版. 268-279. 岡山県環境保健部自然保護課.
- 127 佐藤正典, 2000. 多毛類. 有明海の生きものたち—干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編). 184-205. 海游舎, 東京.
- 128 Sato, M. and A. Nakashima, 2003. A review of Asian *Hediste* species complex (Nereididae, Polychaeta) with description of two new species and a redescription of *Hediste japonica*(Izuka). Zool. J. Linnean Soc., 137: 403-445.
- 129 佐藤慎一, 2000. 二枚貝類 - 特に諫早湾について. 有明海の生きものたち—干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編). 150-183. 海游舎, 東京.
- 130 Schenck, H. G. & Reinhart, P. W., 1938. Ologocene arcid pelecypods of the genus *Anadara*, Mémoires du Musée Royal d' Histoire Naturelle de Belgique, Ser. 2, fasc. 14: 3-73, pls 1-6.
- 131 Shiino, S. M., 1954. A new fresh-water entoniscid isopod, *Entionella okayamaensis* n. sp. Report of the Faculty of Fisheries, Prefectural University of Mie, 1: 239-246.
- 132 Shiino, S. M., 1958. Note on the bopyrid fauna of Japan. Report of the Faculty of Fisheries, Prefectural University of Mie, 3: 29-73.
- 133 椎野季雄, 1964. 等脚類. 動物系統分類学7(上): 節足動物(1)総説・甲殻類(内田亨編). 193-217. 中山書店, 東京.
- 134 清水智彦・福田 宏, 2003a. 岡山県成羽町の石灰岩地帯における微小陸貝の群集構造. Venus, 62: 78-79.
- 135 清水智彦・福田 宏, 2003b. 岡山県成羽町における陸淡水産貝類相. Venus, 62: 89.
- 136 白藤淳一・鈴木田亘平・福田 宏, 2002. 山口・岡山両県からのシオマネキ(スナガニ科)の新産地. 日本ベントス学会誌, 57: 38-42.
- 137 諸喜田茂充, 2003. ナマエビ科. 琉球列島の陸水生物(西田 陸・鹿谷法一・諸喜田茂充編). 249-254. 東海大学出版会, 東京.
- 138 菅野 徹, 1981. 有明海. 194 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 139 Suzuki, S., 1975. The harvestmen of family Triaenonychidae in Japan and Korea (Travunoidea, Opiliones, Arachnida). J. Sci. Hiroshima Univ. (B-1), 26: 65-101.
- 140 武田正倫, 1982. 原色甲殻類検索図鑑. 284 pp. 北隆館, 東京.
- 141 竹門康弘, 2007. 外来淡水産底生無脊椎動物の侵入実態と防除に向けた課題. 陸水学雑誌, 68(3): 445-447.
- 142 Tanaka H., 1998. A new species of the genus *Pardosa* (Araneae: Lycosidae) from Japan. Acta arachnol., 47: 101-103.
- 143 Tsurusaki, N., 1985. Geographic variation of chromosomes and external morphology in the montanum-subgroup of the *Leiobunum curvipalpe*-group (Arachnida, Opiliones, Phalangiidae) with special reference to its presumable process of speciation. Zoological Science, 2: 767-783.
- 144 Tsurusaki, N., 1993. Geographic variation of the number of B-chromosomes in *Metagagrella tenuipes* (Opiliones, Phalangiidae, Gagrellinae). Memoirs of the Queensland Museum, 33(2): 659-665.
- 145 鶴崎展巨, 2002. ダイセンニセタテヅメザトウムシ〜フタコブザトウムシ. レッドデータブックとっとり鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物 動物編(鳥取県自然環境調査研究会 動物調査部会(鶴崎展巨)編). 166-170. 鳥取県.
- 146 鶴崎展巨, 2003. 日野川と千代川が産み出す生物多様性—鳥取県とその周辺におけるザトウムシの地理的分化—. 世界どうぶつ物語—動物地理学で語る鳥取から世界まで—(川上靖編). 平成15年度 特別展 展示解説書: 49-53. 鳥取県立博物館資料刊行会.

- 147 Tsurusaki, N., 2006. Geographic variation of chromosomes and somatic morphology in the polymorphic species *Leiobunum hiraiwai* (Arachnida: Opiliones: Sclerosomatidae). *Zootaxa*, 1325: 157-190.
- 148 鶴崎展巨, 2007. 地理的分化のホットスポットとしての中国山地. タクサ(日本動物分類学会会誌), 22: 3-14.
- 149 鶴崎展巨・足達珠美・岸本興之介, 2002. 鳥取大学蒜山演習林のザトウムシ相. 鳥取大学附属演習林研究報告, 27: 61-69.
- 150 Tsurusaki, N., Murakami, M., and Shimokawa, K., 1991. Geographic variation of chromosomes in the Japanese harvestman, *Gagrellopsis nodulifera*, with special reference to a hybrid zone in western Honshu. *Zoological Science*, 8: 265-275.
- 151 鶴崎展巨・岡田 純, 2000. IV. 動物. 毛無山・宝仏山自然地域学術調査報告書(鳥取県生活環境部景観自然課編). 59-92. 鳥取県生活環境部景観自然課.
- 152 Tsurusaki, N. and Shimada, T., 2004. Geographic and seasonal variations of the number of B-chromosomes and external morphology in *Psathyropus tenuipes* (Arachnida: Opiliones). *Cytogenetic and Genome Research*, 106: 365-375.
- 153 Tsurusaki, N., Takanashi, M., Nagase, N., and Shimada, T., 2005. Fauna and biogeography of harvestmen (Arachnida: Opiliones) of the Oki Islands, Japan. *Acta Arachnologica*, 54(1): 51-63.
- 154 内田 亨・伊藤猛夫, 1973. 腔腸動物. 川村多實二原著 日本淡水生物学(上野益三編). 200-206. 北隆館, 東京.
- 155 上田常一, 1970. 日本淡水エビ類の研究, 改訂増補版. 213pp. 園山書店, 松江.
- 156 上西 実, 1995. カタハガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 7-12, pl. 2. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 157 和田恵次, 1996. 節足動物. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状(花輪伸一・佐久間浩子編). *WWF Japan Science Report*, 3: 74-79.
- 158 和田恵次, 2007. 節足動物門 軟甲綱 十脚目 短尾亜目. 第7回自然環境基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査) 報告書(飯島明子編). 205-214. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 159 山口隆男, 1995. シオマネキ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 甲殻類: 657-661. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 160 山西良平, 1996. 岡山市水門町水門湾, 笠岡市笠岡湾, 倉敷市高梁川河口. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状(花輪伸一・佐久間浩子編). *WWF Japan Science Report*, 3: 99-100.
- 161 山西良平・佐藤正典, 2007. 環形動物門 多毛綱. 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査) 業務報告書(飯島明子編). 182-192. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 162 Yamashita, H., Okamoto, M., Harato, M. & Fukuda, H., 1997. The present status and conservation values of endangered mollusks in tidal flats and estuaries of Japan - 1. *Tellina (Serratina) capsoides* (Bivalvia: Veneroida: Tellinidae). *The Yuriyagai*, 5: 101-115.
- 163 弥益輝文, 1980. アゲマキ, ウミニナ, ゴマフダマ, サルボウ. 岡山県大百科事典 上巻, 60, 260, 1039-1040, 1117. 山陽新聞社, 岡山.
- 164 矢野重文, 1979. 児島湾採集記. いそこじき, 35: 1-3.
- 165 矢野重文・石川 裕, 1994. 四国で初めて採集されたイトウムシオイガイ. ちりぼたん, 25: 22-23.
- 166 安井金也・窪川かおる, 2005. ナメクジウオー頭索動物の生物学. 276pp. 東京大学出版会.
- 167 Yoshida H., 1999. Two species of the genus *Theridion* (Araneae: Theridiidae) from Japan. *Acta arachnol.*, 48: 127-130.
- 168 吉本宗央, 1995. アゲマキガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II) 軟体動物: 60-65. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 169 吉岡郁夫, 1970. 岡山県神ノ島榎浜の潮間帯貝類. ちりぼたん, 6: 1-4.
- 170 湯浅卓雄, 1996. 岡山県自然保護センターの水生動物 [魚類, 底生動物]. 岡山県自然保護センター研究報告, 別巻 (1): 75-82.